



2014年11月吉日

## 医療機関の「受援計画」に関する調査のお願い

東北大学災害科学国際研究所 災害医療国際協力学分野 助教・教授  
佐々木宏之・江川新一  
阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 研究員  
高田洋介  
大崎市民病院救命救急センター 救急診療部長  
山内聡

東北大学では東日本大震災の教訓を踏まえて、今後予想される災害に対応することのできる強い社会をつくるため、災害科学国際研究所 (IRIDeS : <http://irides.tohoku.ac.jp/>)を設置して実践的な防災科学の実現を目指しております。

先般の東日本大震災では被災地に日本全国からたくさんの医療支援が寄せられました。一方、支援を受け入れる側の医療機関にあっては、自院や地域の被災により支援の受け入れにまで手が回らず支援力を十分に活用できなかった、という課題が浮かび上がりました。自分達が被災者となった際、どのように支援を受けながら（「受援」といいます）被災地の地域医療を支えていくか計画を立て訓練しておくことが、効率的な受援・医療事業の継続に必要な不可欠であると考えられました。

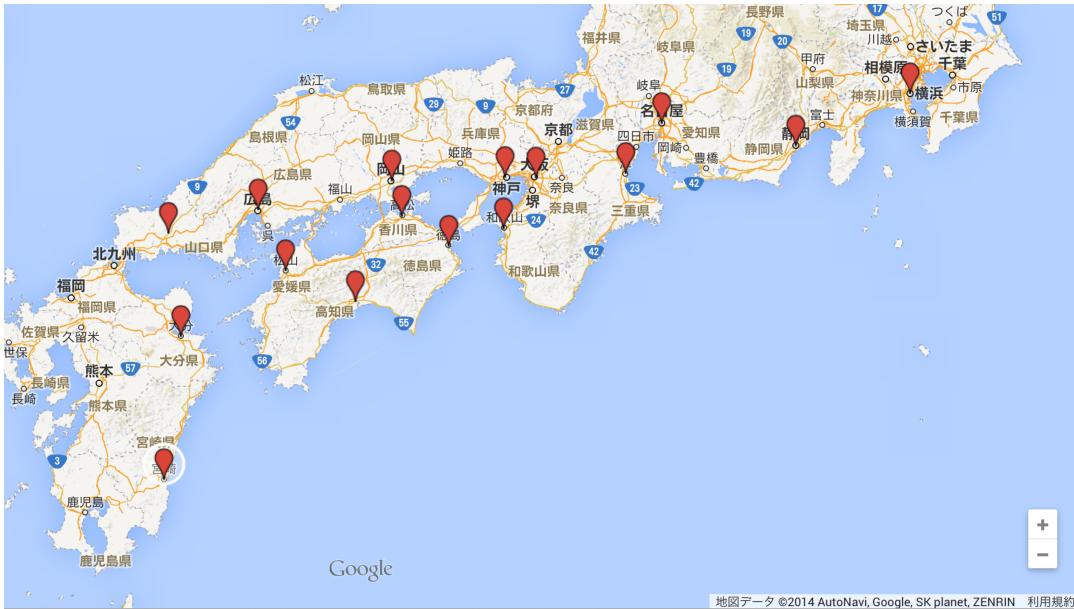
これを受け当研究室では2013年5月～7月に、東日本大震災被災地域を対象に「医療機関における「受援計画」に関するアンケート調査」を実施し、被災地域病院での受援計画の整備状況、将来の災害に備え医療機関が備えておくべき事項等について調査結果をまとめました（当研究室ホームページ：<http://www.irides-icdm.med.tohoku.ac.jp>）。

今回の調査では、南海トラフ地震の被災予想地域医療機関を対象に同様の調査を実施し、医療機関受援計画に関する現状、防災対策の現状についてお伺いします。ご回答の内容は研究以外の目的に使用することは決してありません。どうぞ、ありのままを率直にご回答頂きますよう宜しくお願い致します。なお、ご多忙のところ誠に恐れ入りますが、返信用封筒を用いてアンケート調査表を 12月15日までにご返信頂けますと幸いです。何卒宜しくお願い申し上げます。

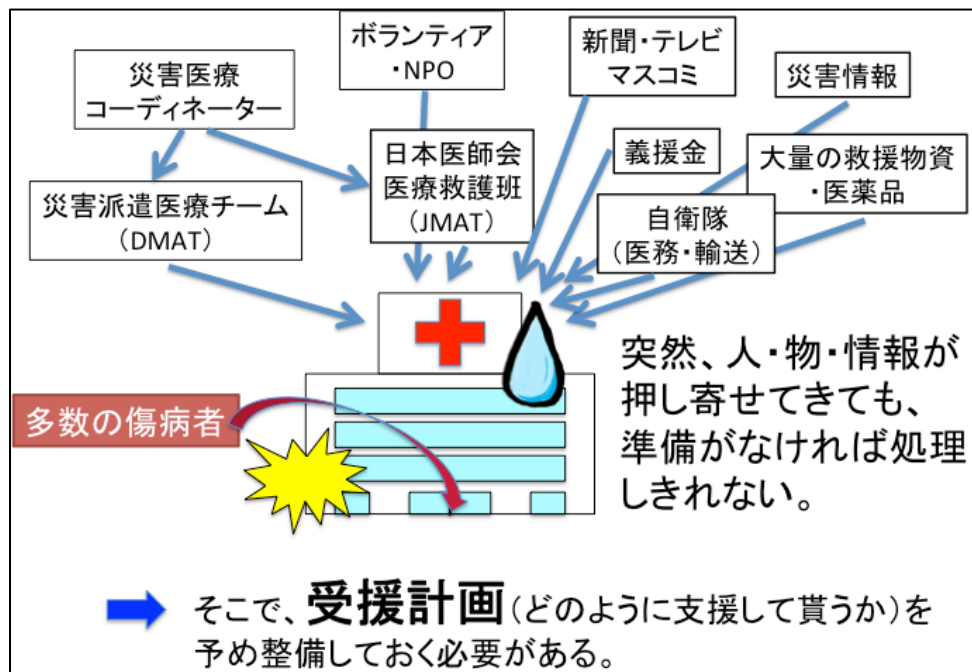
本調査結果が災害に強い未来の医療体制整備に少しでも貢献できればと願っております。

(連絡先) 東北大学災害科学国際研究所 災害医療国際協力学分野 佐々木宏之  
〒980-0873 仙台市青葉区星陵町 2-1-557 ラボ  
電話 022-273-6286 FAX 022-274-5966  
E-mail: [hsasa@surg1.med.tohoku.ac.jp](mailto:hsasa@surg1.med.tohoku.ac.jp)

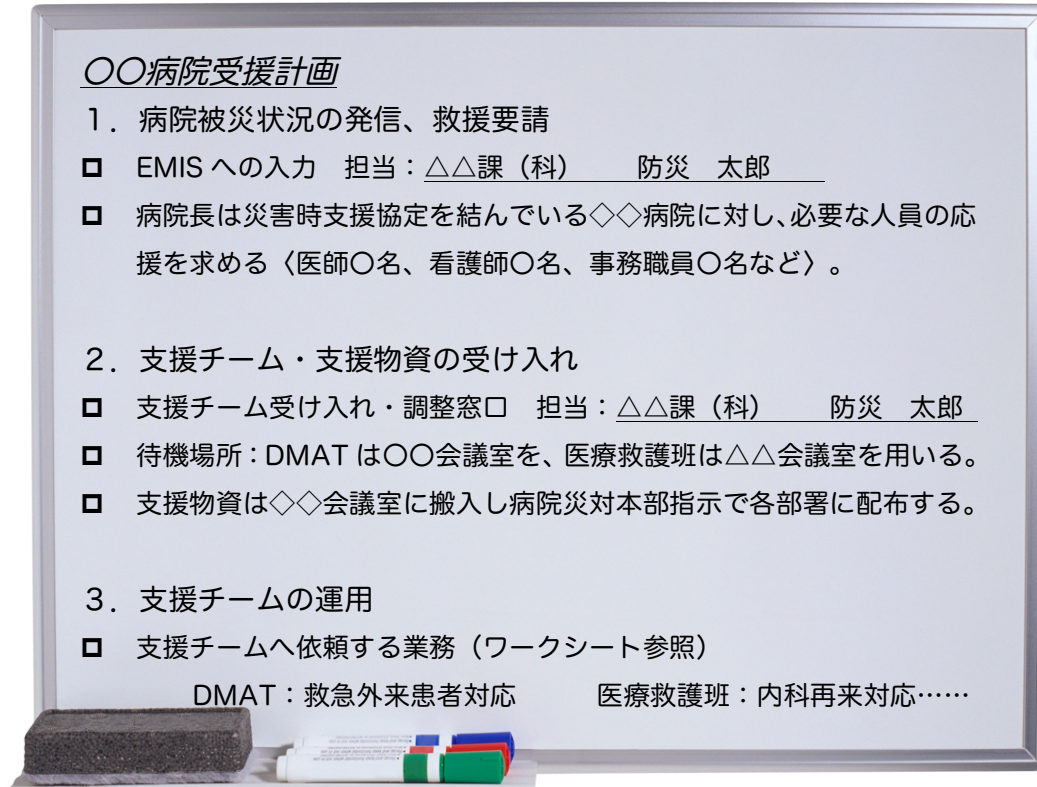
アンケート対象：南海トラフ巨大地震及び津波等により被災が想定される各府県（神奈川県、静岡県、愛知県、三重県、和歌山県、大阪府、兵庫県、岡山県、香川県、徳島県、高知県、愛媛県、広島県、山口県、大分県、宮崎県の16府県）にある、府県ホームページ・救急医療情報システム・EMISなどから検索しうる医療機関



◎病院の受援計画のイメージ



## ◎病院における受援計画（例）



〇〇病院受援計画

1. 病院被災状況の発信、救援要請
  - EMIS への入力 担当：△△課（科） 防災 太郎
  - 病院長は災害時支援協定を結んでいる◇◇病院に対し、必要な人員の応援を求める（医師〇名、看護師〇名、事務職員〇名など）。
2. 支援チーム・支援物資の受け入れ
  - 支援チーム受け入れ・調整窓口 担当：△△課（科） 防災 太郎
  - 待機場所：DMAT は〇〇会議室を、医療救護班は△△会議室を用いる。
  - 支援物資は◇◇会議室に搬入し病院災対本部指示で各部署に配布する。
3. 支援チームの運用
  - 支援チームへ依頼する業務（ワークシート参照）  
DMAT：救急外来患者対応      医療救護班：内科再来対応……

### ※アンケート中に出てくる用語の解説

- DMAT（Disaster Medical Assistance Team, 災害派遣医療チーム）：医師、看護師、業務調整員（医師・看護師以外の医療職及び事務職員）で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期（おおむね 48 時間以内）に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チーム。（「日本 DMAT 事務局 HP」より一部抜粋）
- EMIS（Emergency Medical Information System, 広域災害救急医療情報システム）：災害時に被災した都道府県を越えて医療機関の稼働状況など災害医療に関わる情報を共有し、被災地域での迅速且つ適切な医療・救護に関わる各種情報を集約・提供することを目的としている。（「EMIS HP」より一部抜粋）

※ご多忙のところ誠に恐れ入りますが、返信用封筒を用いてアンケート調査表を 12 月 15 日までにご返信頂けますと幸いです。宜しくお願い致します。